

● 介助の現場から知る！ ●

日常生活動作(ADL)支援製品創出セミナー

ADLとは Activities of Daily Living の略称で、**A**はアクティビティー（動作）、**DL**はデイリーリビング（日常生活）を指し、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」等日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作のことをいいます。

高齢化社会が進む中、自立した豊かな生活をおくるため、産学官を交えた地域でのADL支援の取組みが必要となって来ています。

そこで今回は、デフサッカー男子日本代表監督の植松隼人氏や介助の専門家からお話を聞き、ADLを支援する製品創出のためのヒント等について一緒に考えます。

日時 令和 2年 1月 28日(火) 午後 2時～4時

場所 箕輪町地域交流センター研修室（上伊那郡箕輪町中箕輪10284）

1. 講演会

テーマ 聴覚障害とはどんな障害？日常生活の困りごと、して欲しいこと

講師 デフサッカー 男子日本代表監督 植松 隼人 氏

2. 介助の現場からADL支援を探るセミナー

テーマ 配慮が必要な方とその方法

- ・障害の個人(医学)モデルと社会モデルを理解する
- ・加齢による変化と配慮することを理解する
- ・車椅子利用者や視覚障害者の概要と不便なことを理解する。
- ・安全な介助やお手伝いのポイント

聴講無料

講師 (公財)日本ケアフィット共育機構インストラクター 石井 しおり 氏

3. 意見交換

☆☆☆☆

【講師紹介】

☆☆☆☆

植松隼人 氏

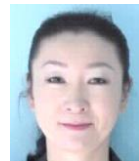
ろう者フットサル元日本代表
2012年アジア選手権3位。(キャプテンを務める)

東日本ろう者サッカー協会事務局長、
2017年デフサッカー男子日本代表監督就任。
先天性聴覚障害でほとんど聞こえませんが、相手の口の動きを読んで発声できるため会話が可能です。
双子のお子さんをもつお父さんでもあります。



石井しおり 氏

(公財)日本ケアフィット共育機構インストラクター。
1999年サービス介助士資格の立ち上げから参加する。2000年3月よりサービス介助士インストラクターとして参加。2011年防災介助士、2014年認知症介助士インストラクターとして活動。鉄道会社・大手通信会社・金融関係・流通業・教育関係などを主に担当。看護師経験に基づく具体的な事例を交えた分かり易い講座に定評があります。



**主催 長野県上伊那地域振興局・INA Valley 産業支援ネットワーク
箕輪町商工会・箕輪町ものづくり交流プラザ
(公財)長野県テクノ財団 伊那テクノバレー地域センター**

日常生活動作(ADL)支援製品創出セミナー 参加申込書 (1月28日開催)

申し込み先; (公財)長野県テクノ財団 伊那テクノバレー地域センター

メールアドレス ina-tec@tech.or.jp FAX番号 0265-73-9023

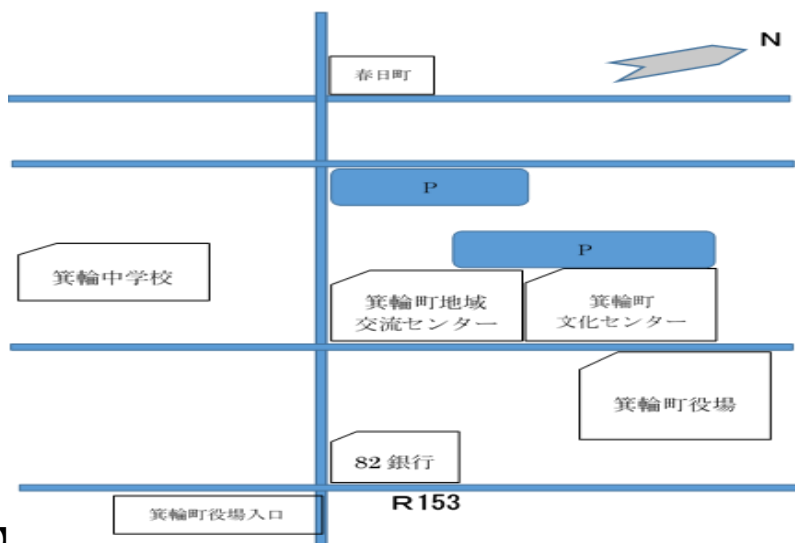
申し込み期限; 令和2年1月20日(月)

会社/ 団体	会社名			
	所在地	〒		
	TEL		FAX	

参加者 (1)	氏名		所属・役職		
	E-mail			TEL	
参加者 (2)	氏名		所属・役職		
	E-mail			TEL	
参加者 (3)	氏名		所属・役職		
	E-mail			TEL	

【個人情報保護に関する注意事項】

申込書に記入いただいた個人情報は、上記の他、主催者の事業等に関する情報や各種セミナー等の案内などの範囲内で利用いたします。



【箕輪町地域交流センターの地図】

お問い合わせ先

(公財)長野県テクノ財団 伊那テクノバレー地域センター TEL. 0265-76-5668

担当: 網野、中澤